

月刊トマホーク通信 VOL. 3

86年1月1日

東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502 トマ喰い虫社 ☎ 03(498)6095



● ちよっとふとくはりましたが、「渋谷」のホーリー、新年モード。今年も復活りましょう! 東京のトマホーク虫社では、暮もおし迫った1月29日、渋谷の新事務所への引っ越し終えました。一枚一軒、ほり切っていきます。

● 12月7日、米軍機の入港があつた。機種質には、8日のはーミット(スケ、シャー級)、トマホーク(アンジエルス級)として12日にミシシッピ(ロスヨン級)、昨年一年間で30隻、そのうちの22隻がトマホーク艦、あるいはアビゲイルのロス級、スタージョン級です。佐世保にもう隻。うち4隻がロス級、スタ級。86年も入港ラッシュが続くこと必至です。

● さて、私たちのことをどうぞ12月8日。この日に前後して各地ご多様な、意欲的な行動、催しがありました。記事とスクランプ情報をいくつかを紹介します。

● いのち作りの間にスミの頭の中に、ヨコスカから知られました。ロス級駆潜・ブレマートンの初入港。5月15午。抗議行動はヨコスカ、ブリティッシュ...

35回の原潜が…

85年

「うーん、二度と入らん」と、ハーベイが口に呟いた。

「お前が山の上にいる間に、父君が死んだんだ。」
倒れた櫻の木の下には一人の、背後で泣き声が聞こえた。
櫻井ヒロスケが、横須賀駅近くへ、今朝駆け寄る。
「お前が山の上にいる間に、父君が死んだんだ。」
白髪の女郎は、身を躊躇してから、
「お前が山の上にいる間に、父君が死んだんだ。」
泣き声が止む。田中タク、櫻井ヒロスケの振舞行
動に見つめた。田中は中止に、米
大使館への起訴行動をとりこめた。田
中は、被説得25人が起訴しても、
櫻井ヒロスケの振舞行動を
「起訴」につけた。田

●アメリカ大使館 東京都港區赤坂1-10 03-5511-1111

●外務省 東京都千代田区麹町1-11 03-3210-1111

●神奈川県庁 横浜市中区日本大通1 03-5510-1111

●横須賀市役所 横須賀市中央1-1111 03-5511-1111

●大韓ハガキや電報はコピーを是非トコ食い出しに送って下さい。紙面ごも紹介したいと思は

入港したら… 抗議と要請忘山河に
ハガキ、電報、電話を集中しよう!!

(2)

あらためて……“反トマホーク”はまだまだこれから!!

黒も
灰色も「ゲメン」だ!! 12.1 ヨコスカ集会

今 反 戰 乞 語 12. 討 論 集 會

— 中 曾 根 政 治 乞 擊 ト —

一中曾根政治を攀つ

85年秋のトマホーク搭載船ヒーストンの格に次ぐ入港は、これまで異常とされ得たことが常態化しつつあることの危険性をさまざまと見せつけました。第一次の入港（一〇・一七～二一）の際のハンスト抗議、第二次の入港（十一・八～一〇）の際の連日デモ等。その都度の抗議行動と併わせて、トマホーク配備状況の体系的な把握と運動の体制づくりが求められて来ています。

黒も灰色もゴメンだ！はヨコスカ集会」は、この様な問題について共に考る為、反トマホーク首都圏運動と非核市民宣言運動ヨコスカの共催で一八〇名の人々の参加を得ました。地元で運動を進めるヨコスカの人々を始め、東京・神奈川・千葉など首都圏の各地域や労働組合のメンバー、生活クラブ生協組合員や核問題を追跡するジャーナリスト、といった様々な人々から、発言で議論を深めました。集会後のデモでは各参加団体ごとに工夫を凝らした横断幕のコンクールも行われ、にぎやかにヨコスカの地での再会を誓いました。

スクラッパ情報

あなたの町・地域の新聞等で目にとまに記事をみて下さい。地元紙や地方
(版)にいのうとも下草な情報をほんのりあります。行動や准レジ登録になら
いません。(編集部)

●ピント (13/4)

●あいつ原潜入港

●全国運動が記者会見

トマホーク
装備は11隻

反核市民団体が発表

トマホーク配備を許すな・全国運

動(事務局・東京・梅林宏道

代表)は12月、同団体が参加

する国際団体の「反トマホー

ク太平洋運動」の調査による

トマホークを装備した

反核市民団体の「トマホー

クの配備を許すな・全国運

動(事務局・東京・梅林宏道

代表)は12月、同団体が参加

する国際団体の「反トマホー

ク太平洋運動」の調査による

トマホークを装備した

原潜30隻目が入港

横須賀基地
85.11.13 「ヒューストン」入港

29原潜

県、核チエック要請

85.11.13

横須賀

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

港

貴方はもう署名してくれましたか????

宣言 反トマホーク第三次キャンペーンの開始に当って

○昨年10月に発せられて、徐々に全国のいろんな地域や職場、人々の目に触れるながら、
年來には約170名の人々が賛同の連署をしてくださいました。これを機会に私達のお互いの意志
を確かめ合へ、更に多くの人々に呼びかけていく為に、このニュースを読んざつて下さい。筆者もぜひ
連署をして下さい。近所の方にもぜひ呼びかけて
みて下さい。用紙はトマト食一虫社社員あります。
協力し合へ目標の1,000人達成へ向けて
ガバババましましとう。

こんな人も連署してくれました～
松下龍一さん、菅孝行さん、伊藤成彦さん、
坂本徳松さん、渋谷弘司さん、栗山次郎さん
青柳精三さん、武藤一羊さん、いいだもさん、
吉川重一さん、矢山有作さん、松江澄さん、
佐々木竹一さん、湯浅一郎さん、猪俣兔さん、
花崎翠平さん、三輪妙子さん、水戸巖さん、
草刈孝昭さん、清水知久さん、藤島田一雄さん、
栗原良子さん……etc.

宣言に賛同し連署して下さい。

第15次キャンペーンの発足にあたって、この宣言をできるだけ多くの人々とともに発したいと思います。全国で下名近い人々が名を連らねることがてければ、お互いの勇ましさになり、一つの力になると思います。ぜひ御協力下さい。

また、連署とともに、一日11000件のキャンペーンに御協力下さい。

有名人も、もうなーんも、
大学の先生も、学生も、

ハラコ、市民も、
革命家も、

反トマホーク アジア太平洋運動 第1回 縱貫委員会開かれる

1985.12.14~17 オロンガボ(ハイビン)

「ハサウエー、アーヴィングの『反
日米大戦』に田にかせて、『反
日米大戦』の本題が『アーヴィングの大戦』
が大いに題材とした。全國興奮たる種林
中連する人、田中連する人(本題)
が多かつ。今後は田中連する種林一人に題
材となる。」(大戦・種林)

スミシケ聖母の御子

「反対派から反対にかけて、マホークアジーだ洋洋灑灑の彼

共六卷之海內一編

ヨロシクねっ!!



第3期
反トコホーク運動に
みんなで参加しよう!

昨年10月から開始された第3期
反トコホーク・キャンペーンの継続・参加
団体・個人・通信会員を大量募集
しております。毎月の費用は以下の通りで
す。私たちの運動は最も基礎となる大切
な事項です。トマ金・会社をせひ遠
隔下せ。

＊継続団体 2,000円 同個人 1,000円
参加団体 1,000円 同個人 500円
通信会員 年内2,000円 他月も月額。

トマ
つむり。

今月の会計報告 (10.1.35 ~ 12.15.35)

支出

・家賃	(10.11.12月分)	22,500-
・電気	(10.11月分)	8,089-
・ガス	(10.11月分)	5,933-
・水道	(9.10月分)	2,560-
・電話	(10.11月分)	77,144-
・印刷		62,000-
・通信		102,405-
・雜費		26,740-
		¥509,871-

収入

・食費	162,000-
・ワニ10	42,132-
・銀行手数料	6,800-
・スライド貸出料	2,000-
・第3期宣言署名	15,200-
・ハニスト出席料金	97,208-
・借入金	55,000-
	¥517,140-

¥7,269 の黒字。

＊トコホーク運動行動の財政は
独立核算と別処理とさせていただきます。

（メモ）毎月薄氷を踏む感じでやりく
りをしていきます。食費の方はか
れ食費納入をストップ。すなはて、反トコホーク運動
の財政は独立人材ということを常にし
て願いを忘れます。（イノカ）

編集後記

◆毎月1日付発行の計画でいたのが第3号（新編集体制としては第2号！）にしてこれです。正月という全国共通的特殊事情のなせる業ゆえお許しを。
12月8日、私のいる神奈川の生活クラブ生協の主催する「反戦の集い」に参
加しました。「非核兵器県宣言」作りに大きな力を注いた主婦たちが、「県
宣言後」の具体的運動作りを探るために企画した多彩な内容の集いでした。
企画のひとつである「ティーチイン」のテーマも“非核の実質化”といつたところでした。小さな集まりですが、たゞ1年で原爆の入港が宣言の空洞化をも
たらどうとしている今、自治体（長洲知事）に「入港拒否」に踏み切らせる
ために何が出来るのか？ 今、答えがあるわけではない。しかし、その事に
真剣に悩み、知恵を寄せ合う共同のテーブルが出来つつあります。今年1年、
正念場です。（尼まモ）